

Q. ビル設備サービス科を受講するとどのような仕事に就けますか。

A. ビル設備員への就職を目指しています。ビルメンテナンス業は建築物の維持保全の仕事で、主な業務としては清掃業務・警備業務・設備管理業務の3つの大きな柱があります。その中で設備管理を行うのが「設備員」という職種になります。



Q. ビルの設備とはどのようなものですか。

A. 基本的には皆さんの身の回りにある設備と変わりません。電灯・コンセントなどの電気設備。エアコン・換気扇などの空調設備。洗面所・台所・トイレなどの給排水衛生設備。消火器や火災報知ベルなどの防災設備。ただし、ビル建物用となると規模が大きくなったり危険性が高くなったりするので、取り扱うための専門知識や資格が必要になる場合があります。

Q. 中高年齢者でも就職できますか。受講生の年齢層を教えてください。

A. 40代でも若手だと言われる現場もあります。機械設備や装置を運転、保守・管理し、安全で快適な生活環境を作り出すのがビル設備員の仕事ですが、その他にもビルのオーナーやテナントなどのお客様対応や工事業者の立ち会いなど人と接する機会もあります。そのため、これまでの人生経験を活かせる職種として中高年齢者を受け入れてきた実績があります。また、肉体的な負担も大きくないため、健康維持のためのセカンドキャリアとして選択されることも多くなってきています。直近3年間の入所・就職状況は以下の通りです。(定員24人×年4回入所×3年間=288人)



平成28年10月～令和元年7月入所生の入所・就職状況

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
関連就職	28	57	64	58	18	225
非関連就職	2	8	9	12	5	36
自営	1	0	1	2	0	4
未就職	0	3	1	4	1	9
中途退所	2	3	5	4	0	14
合計	33	71	80	80	24	288

Q. 設備員の仕事と資格の関係を教えてください。

A. 一般的に、建物の所有者(オーナー)はビル管理会社と契約を結び、建物の管理をお願いしています。当然、オーナーとしては設備に対して経験や知識が豊富な方に管理をしてもらいたいという思いがあります。しかしながら、知識や経験というのは測りづらいものであるため、知識がある=有資格者という考えがあるようです。

たとえば、求人票によく出てくる「第二種電気工事士」は本来電気工事をする人の資格であり、設備管理の資格ではありません。それなのに求人票に記載されているのは、こういう理由があるからです。もちろん、自動車運転免許のように資格がないと運転・操作ができない設備もあります。



※ちなみに、第二種電気工事士の免状だけでは一般的なビル建物の電気工事を行うことはできません。また、ビル設備員が自ら工事を行うことは余りありません(現場にもよる)。

Q. これまで技術系の仕事をしたことがありませんが、大丈夫でしょうか。全くの未経験でも訓練についていけますか。ちゃんと就職できますか。

A. 理系的な考え方に慣れるまで苦労する方はいらっしゃいます。ただ、訓練に付いていけずに辞めた方はほとんどいらっしゃいません。基本的に訓練を受ける方のほとんどが未経験です。ずっと営業だった方や事務職だったという方もいらっしゃいます。誰のためにビルを管理するのか?それはお客様(オーナーやテナントの方)のためです。お客様が満足するにはしっかりとコミュニケーションが取れないといけません。また、ビル管理法とはじめとする色々な法律によって管理基準が定めてあったり、報告したりしなければなりませんので事務処理能力も必要とされます。つまり、現場によってはこれまでのキャリアが十分に活かせる可能性があるともいえます。



Q. 訓練と並行して就職活動を行っても良いのでしょうか。また、就職活動の時期などについて教えてください。

A. 6ヶ月の訓練期間のうち前半3ヶ月を準備期間として位置づけ、専門知識や技術の習得のほか資格取得や応募書類の作成を行ってまいります。後半3ヶ月は訓練受講と並行して就職活動を行います。早い人だと4ヶ月目の終わりごろ、多くの方は5ヶ月目の中盤から6ヶ月目にかけて内定を勝ち取るケースが多いです。そして、訓練修了時にはおよそ8割以上の方が就職・内定されています。



Q. ビル設備管理以外で設備管理の仕事はありますか。

A. オフィスビルやテナントビル以外にも大学・病院・ホテル・商業施設・データセンターなどの建物や、浄水場、下水処理場やゴミ処理場などの「環境プラント」といわれる施設の運転・維持管理などの仕事も関連があります。



Q. ポリテク求人について

A. 企業からポリテクセンター宛に直接送られてくる求人をポリテク求人と呼んでいます。過去にポリテク生を採用して頂いた企業や職業訓練に対して理解がある企業が多く、就職活動に有利な場合があります。

Q. 設備員のイメージがつかめません。

A. 町のかかりつけ医のような存在だと考えてください。自分で対応できる病気やケガは対処しますが、重大な病気などになると専門医を紹介し、対応をお願いすると思います。ビル管理における専門医は専門業者ということになります。また、過去の病歴などを把握していて、常に患者に寄り添って安心感を与えるのもかかりつけ医の仕事です。



Q. 授業中の服装に決まりはありますか。

A. 作業着の着用をお勧めしています。ビル管理の現場では基本的に作業着を着用して仕事しています。作業着が準備できない場合は、安全に作業ができる格好(汚れてもよい服装、大き過ぎずダブついていない服装、肌を露出し過ぎない服装など)で訓練に臨んで下さい。

Q. 訓練中の雰囲気はどんな感じでしょうか。

A. 修了生の声をまとめていますので、ぜひ読んでみてください。ポリテクの活用方法が見えてくるかもしれませんよ。

<https://www3.jeed.or.jp/hyogo/poly/machikado/index.html>